

# 専教寺報

浄土真宗本願寺派 一乗山 専教寺

題字 大橋曾水

〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町矢掛2033

TEL.0866-82-0488

URL...<https://www.senkyoji.com/>

E-Mail.[senkyoji@senkyoji.com](mailto:senkyoji@senkyoji.com)



## 中道の教え

住職 釋龍生

去年、岡山県は平成三十年七月豪雨という県内では未曾有の大災害に見舞われた。今年も、日本のあらゆる場所で大規模の災害が発生している。これら大災害が猛威を振るう日本全国の現状において、国内に安全と言える場所はもはや皆無であろう。あらゆる災害がいつ起きてもおかしくないことを前提に、日々の生活を考えなければならぬと実感する。

大災害が頻発する原因としては、地球の温暖化やその温暖化に伴う気候変動が挙げられ

る。これも人間優先の社会の典型、経済的豊かさ追求・優先するライフスタイルが、現在の社会に目覚ましい繁栄や恩恵をもたらす一方で、地球本来のあるべき姿、自然環境を破壊した「付け」が回ってきているのだろう。将来の地球のあり方を考える時、その先行きに不安を感じずにはいられない。今からでも何とかしなければと切に思う。

何年か前に、ジャーナリストの稲垣えみ子さんが、テレビ番組で述べられていたメッセージを思い出す。

「私たちは何かを手に入れて幸せになろう

としている。モノ、お金の、そして健康。でも手に入らなければ不幸なのか。例えば病人は不幸なのか。だとすれば、私たちは皆、不幸にまみれて一生を終わるのだ。だって病と死からは誰も逃れられないもの。でも本当は病人だって、モノ、お金がなくたって幸せになれるはず。肝心なのは何かを手に入れることじゃない。ハッピーになること。「ある」幸せがあるなら、「ない」幸せがあってもいいじゃない。そう考えると意外なほど心は浮き立つ。」

お釈迦さまは、最初を聞かれた時、最初の説法として、かつて

一緒に修行をした仲間にも、中道の教えをお説きになった。

中道の教えとはどちらにも偏らないという教えである。例えば、欲望をどこまでも貪欲に追求する生き方と、欲を克服するために厳しい苦行を実践する生き方、この2つの生き方に対して、真実を求める上でどちらが正しい生き方であるかと言えば、どちらも正しい生き方ではない。正しい生き方ではない。正しい生き方は、そのどちらにも偏ること無く、あらゆる事柄が生じる原因と条件を踏まえながら、八正道という教えに基づいて、戒律を守り、正しく生きることであるとお説きになる。

お釈迦さまの説く中道の教えとは、稲垣さんの言葉にある「ある幸せがあるなら、ない幸せがあつていいじゃない、肝心なのは何かを手に入れることじゃない。ハッピーになること。」つまり、地球上の全ての生きとし生けるものが分け隔て無く「ハッピー」になることではないだろうか。

地球上が、人間中心の環境に変化する昨今、どこまでも偏らず、共存、共栄を目標とした全ての「ハッピー」を、対岸の火事とせず本気で考える時である。

参考 「御堂さん」

二〇一三年二月号

今年は11月24日(日)に **報恩講法要** が勤修されます。

このたびのこのご縁は 初事と思うべし  
このたびのこのご縁は 我一人の為と思うべし  
このたびのこのご縁は 今生最後と思うべし

お聴聞の心得です。ご講師がどんなご法話を取り次いで下さるか心待たれる今日このごろ。大切なご縁です。このご縁を逃すことなく共に味わわせていただきます。ご家族でぜひお参り下さい。



# 専教寺が放送されます！

坊守 佐々木ひろみ

先日、矢掛放送の取材がありました。それは、「高梁川流域デジタルアーカイブ事業」というもので、高梁川流域の文化や歴史を映像で記録・保存しようという企画です。その事業の一つとして、ここ専教寺の臥龍松が選ばれ、記録に残してもらえることになりました。

最近、矢掛町の観光客増加に伴って、専教寺の臥龍松を見に来れる方もかなり増えていきます。玄関を出ると境内に団体さん・・・ということもよくあります。ですから取材依

頼の連絡をいただいた時は、臥龍松を知っている方にも知らない方にも、臥龍松についてより知ってもらうために、嬉しい企画だなと思ひ、ありがたく取材を受けました。

さて、放送や記録、保存されるとなると、正確なことを伝えないといけません。住職とともに、お寺に残る記録や矢掛町史など、家にある資料らしきものを集めなければ、と頑張りましたが、すべて出してみても役に立ちそうな情報は少ししかありませんでした。わたしたちが把握している歴史を再確認するよ

うな形になりましたが、専教寺がいつ、だれに、なぜ建てられたかということは正しく確認できませんでした。ただ、臥龍松がいつ植えられたかという資料はなく、おそらく専教寺が建てられたのと同時期と考え、現在の看板にも書かれているように約三百年〜四百年前になるだろうとお伝えするしかありませんでした。このように、歴史に関しては、限られた情報しかないので、現在、たくさんの方に見守られ、大切にしているという事実があります。ふだん、門徒さんが来られた時には、松の葉の色を心

## 専教寺講座

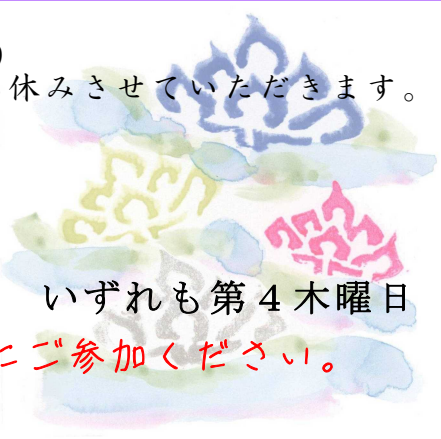
※諸事情による日時の変更あり  
※「写経」は、しばらくの間お休みさせていただきます。

## 仏教讃歌

午前9時30分より

12月26日、1月23日、2月27日 いずれも第4木曜日

どなたでもご参加できます。お気軽にご参加ください。



配してくださる方もおられれば、初めて見る人に対して誇らしげに説明してくださる方もおられます。また、懇志という形で松の維持にご協力くださったっている方もたくさんおられます。

そして、取材に来られた頃は、ちょうど年に一度の、松の剪定の時期でした。丁寧に手入れされた美しい臥龍松の姿が、映像に収められました。また、上空から松を撮影してもらったこともできました。もちろん、インタビューもありました。総代長の古城さん、植木屋さん、そして住職です。今回取材していただいた内容が、編集されてどのような映像になるのか

楽しみです。放送される時（※）には、皆さんもぜひご覧ください。最後に、何度も足を運んで取材してくださった矢掛放送アナウンサーの渡邊さん、カメラマンの角川さん、ありがとうございました。

※収録の様子は、令和2年4月以降に、

- ・倉敷市公式You Tube「高梁川流域デジタルアーカイブ」
- ・高梁川流域ケーブルテレビ局（各局）

で放送される予定です。

## 尊い復興の姿

前坊守 佐々木 京子

七月七日を迎えて、一年前の想像を絶する平成三十年七月豪雨の事が次々と思い起こされた。

災害に遭われた方々の事は、これまで常に、心の中にあつた。お一人おひとりのお顔が目に見え、び、どうしていらっしやるかと思ってきた。住職が尋ね回って、ご門徒の方々の無事が確認された時は、ほっとした。それから、各方面から電話がかかりはじめた。教区選出の宗会議員さんは「必要な救援物資を知らせて下さい。」と。里組組長さんからは「被害状況を知らせるように」と。被災者がいろんな所

に避難されていたので、この状況把握はかなりの日数がかかった。西本願寺の宗務所からは、被災者の要請に応じて、宗務員さんや僧侶がボランティアに駆けつけて下さった。炎天下での作業に、被災された方は「助けられ勇気づけられました。」と感謝されながら、片付けに取り組みされた。

苛酷な片付けが進む中で、流失したり、泥まみれになった仏壇、ご本尊、過去帳、仏具の取り扱いを、お尋ねになる方が増えてきた。そして、そんなご門徒の希望者には、本山から阿弥陀様のご絵像が下付された。ご絵像を安置する台とお給仕の仏具は住職がお贈りした。

「うれしいねえ。手を合  
わせる仏様をお迎える  
ことができた。と家族で  
喜び合いました。」と伝  
えて下さる方があり、私  
も、その喜びを共にさせ  
ていただいた。解体、新  
築、改築が進んだお宅か  
らは、「お仏壇が入りま  
した。」と入仏法要のご  
依頼があり、喜びを分け  
ていただいている。

み仏の誓いを信じ尊い  
み名をとなえつつ強く  
明るく生き抜きます。

(浄土真宗の生活信条)

に包まれた日暮らしをさ  
れていると拝察した。

本山からは、床上浸水  
の被害者に義援金が届け  
られた。「有り難く、元  
気ができます。」と、皆さ  
ん悲嘆の底から復興に向

けて、立ち上がられた。  
「うちばかりじゃない。  
まわりみんなが同じです  
から。」「ほんとうに、  
多くの方によくしていた  
だきました。」この言葉  
が必ず返ってくる町であ  
る。

三十数軒のうち、ほと  
んどが帰ってこられると  
いう町内会の話も聞いた。  
「この町内の人がみんな  
いい人だから、ここへ住  
みたいんよ。」と帰って  
こられるそうである。

み仏の恵みを喜び互い  
にうやまい助けあい社  
会のために尽します。

(浄土真宗の生活信条)

の暮らしがここにもあっ  
た。

「私らはいつでも買え  
る。被災された人はそれ

ができんのじゃから、こ  
れを届けてもらいたい。」  
専教寺のご門徒は物資を  
持ち寄ってこう言われた。  
心通う支援活動がここにも  
あった。

大惨事の中で、支援や  
絆を通して、人と人のつ  
ながりで生かされている  
有り難さを教えられた。

帰りたくなる、帰る所が  
ある温かい町が復興して  
いる。これからも、ご苦  
労の日々は続くと思うが、  
心を通わせ合い、出会え  
たご縁を大切に一日一日  
を生きて行きたいと思う。  
被災された方々のご尽  
力に敬服いたし、皆様か  
ら教わったことを、心に  
刻み歩んでまいりたい。

浄土真宗本願寺派 一乗山 専教寺

## ホームページがリニューアルしました。

専教寺ではホームページを開設して約20年、  
フェイスブックやツイッターを開設して約10  
年が経ちますが、ご門徒にますますホームペ  
ージを見ていただき、活用していただくために、  
スマホやタブレットにも対応するホームペ  
ージをリニューアルいたしました。  
これからも是非、ご活用いただけたらと思います。



岡山の浄土真宗のお寺、一乗山専教寺です。  
当寺では、浄土真宗に関する相談（開帳・法華  
など）や一般の生活相談も承っております。  
お気軽にお問い合わせ下さい。

Since 寛永18年（1641）～  
〒714-1201 岡山県倉敷市大原町2003  
TEL 0866-827-0001





**専教寺子ども会 令和元年8月2日（金）**



**永代経法要 平成31年4月28日（日）**



**境内清掃・仏具おみがき奉仕 令和元年11月4日（月）**  
ご奉仕ありがとうございました。

# 臥龍松保存のための寄付をお願いします

臥龍松を維持管理するには  
たくさんのお金がかかります。  
矢掛町の重要文化財の保存に  
ぜひともご協力下さい。

一口1,000円から受付けています。  
1,000円ご寄付の方には臥龍松のポストカード  
をプレゼント。お寺にご連絡下さい。

※臥龍松保存の寄付はあくまで任意です。

## お知らせ

**仏教讃歌** 11月14日(木)午前9時30分～

**報恩講** 11月24日(日)午前10時30分～  
(受付:午前10時～)

講師:浄土真宗本願寺派  
広島県東広島市 岡本 法治 師

**除夜会** 12月31日(火)午後11時45分～

大みそかの夜、1年の行事のしめくりとしておつとめし、除夜の鐘をつきます。

**元旦会** 令和2(2020)年1月1日(水)午前10時～

新年を祝うとともに、お念仏をいただく報恩の生活の第一歩を踏み出す法要です。

